



達増拓也 岩手県知事を招いて特別シンポジウムを開催
 「被災地の復興とこれからの地域創生の可能性」
 — 6月9日(土) 横浜・金沢八景キャンパス —

関東学院大学(本部:横浜市金沢区 学長:規矩大義)法学部は、地域創生学科創設1周年および地域創生実践研究所の設立を記念して、岩手県の達増拓也知事らを招いたシンポジウム「被災地の復興とこれからの地域創生の可能性」を、6月9日(土)に横浜・金沢八景キャンパスで開催します。

東日本大震災の発生から7年が経過し、「震災の記憶の風化」が徐々に叫ばれるようになってきました。しかしながら、現在も被災各県では、復興に向けた取り組みが着実に進められています。そうした、災害復興の取り組みの中に、地域創生に通じた知見も数多く見出すことができます。

今回は、岩手県が進めてきた復興に向けた施策を中心に紹介しながら、今あらためて、東日本大震災から得た知見を再確認し、近隣地域の振興に向けた方策を探っていきます。

【シンポジウム概要】

- 日時 : 6月9日(土) 14:00~17:00
 場所 : 関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス 3号館 201教室 (横浜市金沢区六浦東 1-50-1)
 京急線「金沢八景」駅下車 徒歩約15分 または
 京急バス「関東学院循環」バス乗車5分「関東学院正門」バス停下車すぐ
 参加方法 : (1)氏名 (2)所属を明記し、メールにてお申し込みください。参加費無料
 hogakubu@kanto-gakuin.ac.jp
 お問い合わせ : 関東学院大学 学部庶務課 (法学部) TEL. 045-786-7040

【プログラム】

- 基調講演
 達増拓也 岩手県知事 演題: 震災・復興と地方自治
- パネルディスカッション
 [パネリスト]
 手塚さや香 釜石リージョナルコーディネーター (釜援隊) (被災地の現場で活躍する釜石市復興支援員)
 江崎澄孝 地域創生実践研究所研究員 (被災地にも出動経験がある元神奈川県警部長)
 前川隼亮 法学部3年
 [コメンテーター]
 達増拓也 岩手県知事
 [コーディネーター]
 津軽石昭彦 法学部地域創生学科教授

【基調講演登壇者略歴】



達増拓也 (たっそ・たくや) 岩手県知事

1964年生まれ。岩手県盛岡市出身。
 東京大学法学部卒業後、1988年に外務省に入省。在シンガポール日本大使館二等書記官、外務省大臣官房総務課課長補佐などを歴任。外務省在職中の1991年に米国ジョージ・ワシントン大学国際研究高等大学院を修了。1996年10月より衆議院議員(連続4期当選)を務める。2007年4月から岩手県知事に就任。現在、3期目。復興庁の復興推進委員会で委員も務める。

関東学院大学 概要

1884年横浜・山手に米国人宣教師が創立した横浜バプテスト神学校が源流。1949年の学制改革により関東学院大学となる。現在では、国際文化、社会、法、経済、経営、理工、建築・環境、人間共生、教育、栄養、看護の11学部を設置する総合大学。
 学生数 11,139名(2018年5月現在) 学長 規矩大義(きく・ひろよし)

取材等に関わるお問合せ先

関東学院大学 広報課
 籠谷園子、鈴木敦
 TEL: 045-786-7049
 kouhou@kanto-gakuin.ac.jp
 横浜市金沢区六浦東 1-50-1